

# 米朝会談・非核化・イラン包囲

金安 弘

## はじめに

中東・イランを取るか、北朝鮮を取るか、2 正面作戦を実行する能力のないアメリカを知るトランプは、文在寅大統領の話に乗った。これが、6.12 米朝会談の成功の理由だったと考えます。イラク戦争を主導し、今もイラン・北朝鮮を同時に攻撃しろと言い続けてきたボルトン補佐官が、中間選挙・次の大統領選挙を考えるトランプに妥協をした結果だとも言えます。イラク・アフガニスタン戦争に対し、何の反省もないこの戦争屋がいるトランプ政権に盲従する安倍を一日でも早く打倒する以外に私たちの道はありません。イラク戦争に従軍をした日本に対する反省のない安倍は、今度はイラン戦争に参加するかもしれないという恐怖感を禁じえません。自衛隊の外征軍化を進める安倍政権を見ると、この恐怖は考えすぎでしょうか。

## 朝鮮半島の非核化とは

4. 27 板門店宣言では、朝鮮の一方的な非核化など一言も言っていません。「南北は、朝鮮半島の非核化を通じて核のない朝鮮半島を実現するという共同の目標を確認した」「(そのために) 国際社会の支持と協力のために積極的に努力することにした。」これだけですが、6.12 米朝会談を意識した宣言として過不足はありません。13 年前の 2005 年、4 回目の六か国協議共同声明が北京で発表されました。その共同声明を踏まえての宣言だと理解できます。あの「約束対約束、行動対行動」の原則という有名な声明です。重要なところを記しておきます。

「米国は、朝鮮半島において核兵器を持たず、北朝鮮に対して核兵器あるいは通常兵器による攻撃または侵略の意図がないことを確認する」

「韓国は、その領域に核兵器が存在しないことを確認するとともに、1992 年の朝鮮半島非核化共同宣言に基づき、核兵器を運び入れず配備しないという約束を再確認する」。この二つの文の前に「北朝鮮は、すべての核兵器および既存の核計画を放棄し」、NPT 及び IAEA の保障措置に早期に復帰することを約束する」これに対して、アメリカと韓国がそれぞれ確認と約束をしたという形式をとりました。しかし、当時のブッシュ政権が北朝鮮に対し、金融封鎖を開始したことにより六か国協議もこの声明もご

破算になりました。4.27 南北首脳会談、6.12 米朝首脳会談を出発点として、この六か国声明の実現に向けて進むしか朝鮮半島の非核化はあり得ません。中国・朝鮮・韓国・ロシア・アメリカ、そして日本の六か国。日本の約束とは「日朝平壤宣言に従って、不幸な過去を清算し、懸案事項を解決することを基礎として、国交を正常化するための措置をとることを約束する。」です。日本はまだ約束を果たしていません。

## イランへの圧力

5 月 8 日、トランプ大統領は、イランとアメリカ・イギリス・フランス・ドイツ・中国・ロシアの六か国が結んだ核合意体制から離脱し、イラクに対して最高レベルの経済制裁を科すと宣言しました。日本に対し、世界に対し 9 月までにイランからの石油輸入を停止せよと迫っています。一週間後の 5 月 14 日、中東諸国やイランの人々を挑発するようにアメリカ大使館をエルサレムに移行しました。「自国防衛のためにイランの核開発を阻止しなければならない。」とするイスラエルのネタニヤフ首相への支持声明でもあります。

イスラエルは、81 年イラクの、2006 年にはシリアの核施設をアメリカの支援のもとに空爆をしています。IAEA がイランの核開発はすでに解決していると保証しているにもかかわらず、ネタニヤフとトランプは、イランへの圧力を激化させているのが現状です。安倍首相はどう対応するのか。イスラエルとの関係を重視する以上、イランに対する圧力に対し批判することは考えられません。トランプとネタニヤフが作るイラン包囲網に協力するなと声をあげなければなりません。

イランの革命防衛隊の影響力がイラクとシリア・レバノン・イエメンに拡大をしている現在は、脅しから戦争への危機を拡大しています。

イエメンから 100 km 地点にあるジブチの自衛隊基地は、P3C 哨戒機を使っての情報提供という形で米軍に協力しています。海賊などもうどこにもいません。

## おわりに

朝鮮半島の肯定的な変化を無視しての軍事拡大路線をとる日本。不戦ネットは連続講座「日米安保最前線 どこまで進む軍備拡大・同盟強化」の連続講座を開催しています。第 3 回は、7 月 28 日(土) 青森から、東奥日報の斎藤光政さんの学習集会です。お待ちしております。